manier / 法 /

* + 選定理由: 中国語「方法」の「法」は、“やり方・方式”を連想させ、日本語でも「方法」「法律」などで馴染みがあり理解しやすい。
  + 学習コスト: 同義の「metod」にも同字「法」を割り当てることで、重複使用を増やし学習負担を軽減。

1. metod / 法 /
   * 選定理由: 「方法」「手段」を直接表せる字として簡潔で分かりやすい。
   * 学習コスト: 「manier」と同じ「法」を再利用。
2. direkt / 方 /
   * 選定理由: 中国語で「方向」を示す基礎字。「方位」「方法」など、方向性を連想しやすい。
   * 学習コスト: 画数が少なく、日本語でも「方角」「方法」として認識しやすい。
3. konduk / 导 /
   * 選定理由: 簡体字「导」は日本語の「導」に対応し、「導く・率いる・案内する」などの意味を想起しやすい。
   * 学習コスト: 同義の「gvid」と同じ字を使い回して統一。
4. gvid / 导 /
   * 選定理由: 「案内する」「ガイドする」の意味を端的に示す。「導」の簡体字で画数が少ない。
   * 学習コスト: 「konduk」と同字割当で覚えやすい。
5. preskrib / 方 /
   * 選定理由: 処方箋を表す「药方(薬方)」等に含まれる「方」から転じ、“処方する”イメージを持ちやすい。
   * 学習コスト: すでに「direkt」で使用した「方」を再利用。
6. komand / 令 /
   * 選定理由: 「命令」「指揮」「統帅(統率)」を連想しやすい字。「令」は日本語でも「命令」などで馴染みがある。
   * 学習コスト: 後述の「ordon」「instrukci」と同じ字でまとめ、学習負担を軽減。
7. ordon / 令 /
   * 選定理由: 「命令する」を直接イメージできる。画数が少なく単独でも意味が明瞭。
   * 学習コスト: 「komand」「instrukci」と同字割当。
8. instrukci / 令 /
   * 選定理由: 「指令」「指示」を表せる。同じ“命令系”の意味合いを共有しやすい。
   * 学習コスト: 「komand」「ordon」と同じ字を再利用。
9. kre / 造 /

* 選定理由: 中国語「创造(創造)」「制造(製造)」などに通じ、“作り出す・創造する”意味を直観しやすい。
* 学習コスト: 新規の割当だが、「作る」概念に汎用性がある字。

1. konstru / 建 /

* 選定理由: 「建造」「建设」から“建てる・構築する”を示す漢字として適切。日本語でも「建設」「建築」等で認識しやすい。
* 学習コスト: 同様に“創立”を表す「fond」「establ」にも共有予定。

1. fond / 建 /

* 選定理由: 「建立」「创办(創辦)」における“創立”のイメージに対応。“建てる”ニュアンスが含まれる。
* 学習コスト: 「konstru」「establ」と同字にすることで簡略化。

1. establ / 建 /

* 選定理由: 「设立(設立)」「建立」を連想させ、新組織や制度を“設ける”意味合いにも通じる。
* 学習コスト: 「konstru」「fond」と同字で統一。

1. struktur / 构 /

* 選定理由: 中国語「结构(構造)」の「构」は“組み立て・構成”の意味を直接指す。
* 学習コスト: 繁体「構」の簡体字で画数も少なく、日本語圏でも原型を推測しやすい。

1. aranĝ / 排 /

* 選定理由: 中国語「安排(アレンジ)」の中心語「排」を用い、“整える・段取りを組む”イメージを示しやすい。
* 学習コスト: 画数は多くなく、「organiz(组)」等と区別がとりやすい。

1. organiz / 组 /

* 選定理由: 中国語「组织(組織)」の中心文字「组」で“組織する・まとめる”の意味を担う。
* 学習コスト: 画数が比較的少なく、日本語「組」に通じる。

1. rekompenc / 报 /

* 選定理由: 「报酬」の「报」から、“報酬・償い”を想起しやすい。日本語でも「報酬」(ほうしゅう)のイメージに近い。
* 学習コスト: 後述の「honorari」と同字で“支払い系”をまとめる。

1. honorari / 报 /

* 選定理由: 「謝礼金」「報酬」の類義。中国語「报酬」「报偿」と一括りに理解可能。
* 学習コスト: 「rekompenc」と同じ字を使用して簡素化。

1. pag / 付 /

* 選定理由: 中国語「支付」「付款」の「付」から、“支払う”行為を直接連想できる。
* 学習コスト: 「kotiz」と共通化すれば、決済・支払い動作をまとめられる。

1. salajr / 薪 /

* 選定理由: 中国語「薪水」は“給料”の意であり、日本語でも「薪＝しん(たきぎ)」だが「給料」を連想することもある(「薪俸」など)。
* 学習コスト: 新規だが給与関連を象徴する代表的な字として割り当て。

1. kotiz / 付 /

* 選定理由: 会費や分担金の支払いを「付款」などと同じ「付」で表すことが可能。
* 学習コスト: 「pag」と同じ字で“支払”系を一括管理。

1. rent / 租 /

* 選定理由: 中国語「租金」は“賃貸料”を示し、日本語の「賃貸」(ちんたい)も連想しやすい。
* 学習コスト: 支払い・金銭系の中でも単独で“賃貸”を表しやすい字。

1. donac / 礼 /

* 選定理由: 「礼品(贈り物)」「礼物」から“贈答・お祝い”のイメージが強い。日本語の「礼」に通じる。
* 学習コスト: 画数が少なく、「贈」を使うより簡略。

1. premi / 奖 /

* 選定理由: 「奖品」「奖赏」で“賞品・褒美”を表しやすい。簡体字「奖」は日本語の「奨」「賞」に近い。
* 学習コスト: 新出だが、賞品関連を示す際に分かりやすい代表字。

1. almoz / 施 /

* 選定理由: 「施舍(施し)」「布施」「救济」を連想しやすく、日本語でも「施す」で“恵与・慈善”の意味をとりやすい。
* 学習コスト: 画数9と中程度だが、慈善・施与のイメージを単字で表せる。

dot / 嫁妆 / 「嫁妆」は中国語で「持参金(ダウリー)」の定訳 / 2文字だが、中国語圏では意味が通じやすい

1. kontribuci / 赔偿 / 「軍賠償金」などの“賠償”に対応する標準的表現が「赔偿」 / 「赔」「偿」2文字だが比較的常用
2. stipendi / 奖学金 / 「奨学金」に対応する標準的表現は「奖学金」 / 3文字になるが中国語圏で非常に定着している
3. subvenci / 补贴 / 「補助金」「補助」に相当。中国語で「補助金」に近いのは「补贴」 / 「補(补)」を再利用できる場面は他にもある可能性あり
4. ukaz / 诏 / 史的に「ツァーリの勅命」に近いニュアンスの“詔”や“敕”があるが、ここでは簡体字「诏」を採用 / 画数はやや多めだが、後述の“勅令(敕令)”等ともある程度共通性を持たせられる
5. imperativ / 令 / 命令法の「令」に対応させることで画数を抑えた / 「命令」「法令」などに用いられる字で、中国語圏・日本語圏ともに“命令”を連想しやすい
6. testament / 遗嘱 / 「遺言」「遺書」に相当する標準的中国語は「遗嘱」 / 2文字だが非常に一般的な法用語
7. edikt / 诏 / 「勅令」に近い概念。「诏」で #5 (ukaz) と同じ文字を再利用し画数を抑える / 古典的だが、両者で共通字とすることで学習コストを削減
8. dekret / 令 / 「政令」「法令」などに近い概念。#6 (imperativ) の「令」を再利用 / 「令」は非常に汎用的で「命令」「法令」などで通じる
9. pretekst / 借口 / 「口実」の意味で最も一般的な中国語表現が「借口」 / 2文字熟語だが日中ともに意味を類推しやすい
10. argument / 论点 / 論拠・論点としての「argument」は「论点」が比較的分かりやすい / 「论」は他の論証(论证)等にも使える可能性
11. demonstraci / 论证 / 「論証」「証明」に対応。「デモ(示威)」ではなく“主張を論理的に証明する”ニュアンス / #11 の「论」と共通
12. pretend / 声称 / 「権利を主張する・(真偽不明のことを)声高に言う」の意味に近い / 2文字熟語でまとまりが良い
13. pled / 辩护 / 法律用語として“弁護する”に近い中国語は「辩护」 / 「辩」は“議論する”要素、「护」は“守る”の要素
14. apelaci / 上诉 / 裁判などで「上訴する」を意味する標準中国語が「上诉」 / 2文字でわかりやすい
15. admon / 告诫 / 「言い聞かせる」「戒める」に近い。中国語では「告诫」「劝诫」「训诫」などがあるが、ここでは「告诫」 / 2文字ながら古典的要素が強く、意味は明確
16. konvink / 说服 / 「説得する」にもっとも一般的な中国語表現 / 2文字だが常用かつわかりやすい
17. asert / 断言 / 「断言する」にそのまま相当 / 2文字であり日中ともに意味を想起しやすい
18. konfes / 坦白 / 「(罪や秘密を)告白する・白状する」ニュアンス。「承认(承認)」よりも“自白”に近い / 2文字、比較的常用
19. akuz / 控告 / 「告発する」「告訴する」を正式に表す際の常用語 / 2文字
20. denunc / 告发 / 「告発する・(犯罪などを)当局に届け出る」意味で「告发」を選択 / #20 と同じく「告」を再利用し画数を幾分抑えられる
21. akompan / 陪伴 / 「同行・付き添う」の意。ほかに「伴随」「随行」なども可 / 「陪」と「伴」で意味が明確かつ日常的
22. obe / 服从 / 「服従する」の定訳。「顺从」「遵从」などもあるが「服从」がより一般的 / 2文字だが意味がはっきり伝わる
23. observ / 观察 / 「(を)観察する」の核心的意味に着目し「观察」に対応 / 「遵守」の含意(規則を守る)は別義だが、ここでは主要な“観察”を中心に
24. dev/ont/ig## / 约束 / 「(履行を)約束させる・義務を負わせる」ニュアンスに近い簡潔表現 / 単に「強制」ほど強くはなく、「束縛」よりも契約・約定に近い語感

promes / 约 /

* + 選定理由: 「約束(する)」を連想しやすい。「約」の簡体字が「约」。
  + 学習コスト等: 日本語の「約束」、中国語の「约定」に通じ、双方に意味が伝わりやすい。画数も比較的少ない。

1. ĵur / 誓 /
   * 選定理由: 「誓う」「誓約」の核心をなす字。簡体字でも「誓」は同形。
   * 学習コスト等: 日本語の「誓う」と同じ字形。少々画数は多いが、他に適当な簡易字が少ない。
2. destin / 定 /
   * 選定理由: 「予定する」「注定(あらかじめ定める)」など、「～に定める」のイメージ。
   * 学習コスト等: 日本語にも「定める」「決定」という形で馴染みがある。画数も比較的少ない。
3. komisi / 委 /
   * 選定理由: 「委託(委托)」の中心語。中国語では通常「委托」と2文字だが、ここでは核心の「委」を採用。
   * 学習コスト等: 日本語の「委員」「委託」などで見覚えがある。1文字化により重複使用を避けつつ簡潔に。
4. asign / 配 /
   * 選定理由: 「分配」「配分」のイメージ。「割り当てる」に比較的近い漢字。
   * 学習コスト等: 日本語でも「配分」「配給」で使用し、視覚的にも分かりやすい。
5. atribu / 属 /
   * 選定理由: 「～に属する」「帰属させる」「(属性を)割り当てる」のニュアンスから。
   * 学習コスト等: 日中で字形が共通（日本語の「所属」、中国語の「归属/附属」など）。やや画数多めだが意味は明確。
6. don / 给 /
   * 選定理由: 中国語で「与える」「～にあげる」は「给」が最も一般的。
   * 学習コスト等: 日本語の「給料(给料)」の簡体字に近い。常用頻度も高く学びやすい。
7. ofert / 供 /
   * 選定理由: 中国語「提供」「供给」のコア。「(商業的に)提供する」「オファーする」の意味に近い。
   * 学習コスト等: 日本語「供給」、中国語「供给」と共通。「供」は比較的使いまわしがしやすい。
8. liver / 供 /
   * 選定理由: 「供給する」「納品する」のニュアンス。中国語の「供货」も「提供」の一種に含まれる。
   * 学習コスト等: ofert と同じ字を再利用し、学習コストを抑える。厳密には「deliver」＝「送/交付」もあり得るが、ここでは重複優先。
9. el/don## (出版する) / 出 /

* 選定理由: 「出版」「発行」の語源的イメージは「外に出す」。中国語でも「出版」「出书」と「出」が使われる。
* 学習コスト等: 日中で共通の漢字。「出」は画数が少なく、覚えやすい。

1. deleg / 派 /

* 選定理由: 「派遣する」、中国語の「派遣」「派出」、日本語の「派遣」も同じ字。
* 学習コスト等: 比較的画数が少なく、「派閥」「派生」などでも見られる馴染み字。

1. send / 送 /

* 選定理由: 「送る」は日中ともに「送」。とても直接的で分かりやすい。
* 学習コスト等: 画数9とやや多めだが、日常で非常に頻出するため学びやすい。

1. eksped / 发 /

* 選定理由: 「発送する」「発信する」を中国語では「发送」「发货」等といい、「发(發)」が核心。
* 学習コスト等: 日本語の「発(ハツ)」に相当する繁体字「發」を、簡体字では「发」。使用頻度も高い。

1. mandat / 汇 /

* 選定理由: [商]為替＝「汇票」「汇款」(送金)など。「mandate」「振替送金」のイメージに近い。
* 学習コスト等: 日本語ではあまり見慣れないが、中国語圏で「汇款」など日常的に使う。「氵(さんずい)＋汇」で覚えやすい。

1. spez / 出纳 /

* 選定理由: 「出納(しゅつのう)」は日中ともに“金銭の出し入れ”を扱う語。中国語でも「出纳(chūnà)」が会計担当を指す。
* 学習コスト等: 2文字だが、会計を連想しやすい。1文字では適訳が難しいため熟語化。

1. ĝir / 转 /

* 選定理由: 「(お金を)振り替える」「口座間を移す」のニュアンスは中国語で「转账」「转款」等。「转」が“移転”の核心。
* 学習コスト等: 日本語の旧字体「轉(転)」。簡体字は「转」なので画数が減り学習しやすい。

1. kvitanc / 收据 /

* 選定理由: [商]領収書＝中国語「收据」、最も一般的な「レシート」「受領証」の意。
* 学習コスト等: 2文字だが意味が分かりやすい。1文字で「据」「收」を取っても不十分なので熟語を採用。

1. mend / 订 /

* 選定理由: 「(を)注文する」。中国語「订货」「订餐」など。“注文”の意味で最も簡潔な字。
* 学習コスト等: 日本語の「訂正」の「訂」と同系。画数も少なく覚えやすい。

1. abon / 订 /

* 選定理由: 「予約する」「購読契約する(订阅)」も「订」で表現可能。
* 学習コスト等: mend と同字にして重複を減らす。「预订(予約)」「订阅(購読)」など文脈で使い分ける。

1. opi / 鸦片 /

* 選定理由: [化]アヘン＝中国語で「鸦片」。単一字は存在しない。
* 学習コスト等: やや画数は多いが、日中とも歴史的経緯で有名な語。

1. aniz / 茴香 /

* 選定理由: アニス(Anise)を中国語で一般に「茴香」とも呼ぶ(細かい違いはあるが近似)。
* 学習コスト等: 2文字だが、実際の食品名として通用しやすい。

1. anilin / 苯胺 /

* 選定理由: [化]アニリン＝中国語では「苯胺(Běn'àn)」。
* 学習コスト等: 化学用語として定着した2文字。単一字は存在しない。

1. anten / 天线 /

* 選定理由: アンテナ＝中国語「天线(tiānxiàn)」。一文字のみでは意を成しづらい。
* 学習コスト等: 日常用語として「天线」はよく使われる。

1. ann / 安娜 /

* 選定理由: [女子名]アンナ＝中国語表記の常套「安娜(Ānnà)」。
* 学習コスト等: 外国人名の音訳として定着している。2文字。

1. anton / 安东 /

* 選定理由: [男子名]アントン＝中国語表記「安东(Āndōng)」。
* 学習コスト等: 同じく音訳で、2文字の人名表記。

amik / 友 / 「友」は日中双方で「友達」の意味が直感的にわかりやすい / 新規割当

1. kamarad / 伴 / 「伴」は「仲間」「伴侶」の意を持ち、日中双方で理解しやすい / 新規割当
2. koleg / 同 / 「同」は「同僚」「同事」の語に含まれ、同僚のイメージに近い / 新規割当
3. gast / 客 / 中国語「客人」、日本語「客(きゃく)」でゲストに通じる / 新規割当
4. klient / 客 / 上記と同じ「客」を流用。「顧客」「客户」を連想しやすい / 既出「客」の再利用
5. lake / 仆 / 簡体字「仆」は「僕(しもべ)」の意で、従僕・召使を示唆 / 新規割当
6. adept / 徒 / 「信徒」「教徒」などから、信奉者・支持者を表すのに適当 / 新規割当
7. disĉipl / 徒 / 弟子・門徒の意味で「徒」を再利用 / 既出「徒」の再利用
8. viv / 生 / 「生きる」「生命」のイメージで日中とも直感的に分かる / 新規割当
9. loĝ / 住 / 「住む」「居住」に直結する意味で日中共通 / 新規割当
10. vilaĝ / 村 / 「村」「村落」の意味は日中で共通認識しやすい / 新規割当
11. dom / 家 / 「家(いえ)」「家庭」として広く認識される字を採用 / 新規割当
12. hejm / 家 / 「家(いえ)」＝ホームの感覚で同じく「家」を再利用 / 既出「家」の再利用
13. famili / 家 / 「家族」も「家」の字で連想可能とし、同一字に集約 / 既出「家」の再利用
14. ia / 某 / 中国語で「ある種の」「ある〜」を示す「某」が最も近い / 新規割当
15. iu## / 某 / 「ある(人・もの)」の不定表現として同じ「某」を流用 / 既出「某」の再利用
16. ies / 某 / 「誰かの〜」も「某人の〜」に相当。不定の所有を示せる / 既出「某」の再利用
17. iu / 某 / 不特定の「誰か・何か」に同じ「某」を再利用 / 既出「某」の再利用
18. tiu ĉi## / 此 / 簡体字では「这」もあり得るが、日本語圏にも通じる「此」を採用 / 新規割当
19. ties / 那 / 「あの人の・それらの」の意に近く、中国語「那(その・あれ)」を用いる / 新規割当
20. tiu## / 那 / 「あの〜(個別)」として「那」を流用 / 既出「那」の再利用
21. tiu / 那 / 「あの人・あのもの」も同じく「那」を再利用 / 既出「那」の再利用
22. ci / 你 / 親しい相手への呼びかけ(二人称単数)として代表的な「你」を採用 / 新規割当
23. vi / 你 / 二人称複数や敬称も含め「你」で集約し、区別は上付き文字等で対応 / 既出「你」の再利用
24. ŝi / 她 / 女性代名詞として中国語で一般的な「她」を用いる / 新規割当

li / 他 / 三人称単数男性代名詞として現代中文でも「他」が代表的。日中ともに「彼」の意で容易に連想可能 / 既出なし。筆画は5画程度

1. ni / 我们 / 「私たち」の意味を最も素直に表す現代中文の標準形。単一字で「we」を表す字は実質存在しないため2文字化 /
   * 我(すでに他で使用) + 们(新出) の組み合わせ
   * 学習コストはやや増すが、中国語母語話者に直感的
2. ego / 自我 / 「自我」を表す標準的な2文字。「自」= self, 「我」= I で、日中双方に馴染みあり /
   * 自(新出) + 我(既出予定)
   * 意味が分かりやすい
3. mi / 我 / 「私」を表す最も基本的な字。日中ともに“我”で「わたし」「自分」を連想しやすい / 既出予定(ni, ego など)とも共用可
4. unu / 一 / 「一」の意味そのまま。最も画数が少なく日中で共通認識可能 / 既出なし
5. da / 的 / 所有・連体修飾を示す「の」に相当する最頻出字。現代中文らしく分かりやすい / 既出なし。画数は8画
6. graved / 孕 / 「妊娠する・孕む」を示す簡体字として、現代中文「怀孕」中にも含まれる「孕」を採用 / 既出なし。5画で比較的少ない
7. embri / 胚 / 「胚・胎」の意味に近い字。生物学用語「胚胎(embryo)」の「胚」部分を単独使用 / 既出なし。9画
8. infan / 子 / 「子供」を示す最も基本的な字。日中どちらも「子」は「こども」の意味を含む / 既出なし。画数も少なく覚えやすい
9. beb / 子 / 「赤ん坊」だが、学習コスト低減のためinfanと同じ「子」を再利用。区別が必要な場合は発音注記などで対応 / すでに infan で使用済み
10. fraj / 卵 / 「魚卵・卵塊」の意味だが、一般的な「卵」として簡体字でも「卵」を採用 / 既出なし(次の ov と同字を流用)
11. ov / 卵 / 「卵」の汎用字をfrajと同じく再利用。「卵」は日中で意味が直感しやすい / frajと同字
12. sem / 种 / 「種子」に対応し、簡体字で種を表す「种」を使用。日中とも「種(種子)」を連想しやすい / 既出なし
13. ĝerm / 芽 / 「胚芽・芽生え・発芽」の意味。簡体字・日本語とも「芽」が「め」を表し連想可能 / 既出なし
14. burĝon / 芽 / 「蕾・芽」の意味だが、ĝermと同じ「芽」で再利用。どちらも「芽」の概念であり、学習コスト軽減 / ĝermと同字
15. parenc / 亲 / 「親族・親戚」を象徴する簡体字。「亲」は「親戚」の略体であり、日中いずれも「親」のイメージで理解しやすい / 既出なし
16. bo / 姻 / 「姻戚」を表す最も直接的な字。「婚」と迷うが、姻族のニュアンスにより近い / 既出なし
17. hered / 继 / 「継承」や「相続」を意味する簡体字「继」。伝統的には「繼」だが、簡体で画数が抑えられている / 既出なし
18. id / 子 / 「子孫」を表す接尾辞。すでにinfan・bebで用いた「子」を流用し、子孫・末裔の意も包含 / infan, bebと同字
19. primitiv / 原 / 「原始的な」を示す際、現代中文では「原始」と表記。単字化して「原」を採用 / 既出なし(後で original と共用)
20. pra / 古 / 「より古い・太古の」を示す接頭辞。簡体字で「古」は画数も少なく「太古」を連想しやすい / 既出なし
21. origin / 源 / 「起源・源泉」の意に最も直結する「源」を採用 / 既出なし(後で font と共用)
22. original / 原 / 「原作・原文」の意。「原」をprimitivと共用し、「オリジナル」のニュアンスを表す / primitivと同字
23. font / 源 / 「泉・源泉・水の湧き出る場所」の意を持つため、originと同じ「源」を再利用 / originと同字
24. radik / 根 / 「根・根本」を表す標準的な字として「根」を採用。日中いずれも“ルート”の意味を直感しやすい / 既出なし

baz / 基

* + 選定理由: 「基本」「基础」「基地」など、土台や基盤を直感させる字。
  + 学習コスト: fundament と同じく「基」を使うことで重複を抑制。

1. fundament / 基
   * 選定理由: 「基础」「地基」に対応する代表的な字。baz と同様の意味領域をカバー。
   * 学習コスト: baz と同じ字「基」を使い回し。
2. esenc / 本
   * 選定理由: 「本質」「本来」「根本」などで“本質”を連想しやすい。画数も5画と少ない。
   * 学習コスト: 新規だが画数が少ない。
3. princip / 则
   * 選定理由: 「原则」「规则」など“原則・規則”を示す簡体字(則の簡体)。
   * 学習コスト: 新規だが、形が比較的シンプル。
4. ek / 开
   * 選定理由: 中国語の「开始」「开端」など「開・始動」を広く連想できる字。
   * 学習コスト: 下記 iniciat, komenc, start でも「开」を共用して重複削減。
5. iniciat / 开
   * 選定理由: 「发起」「创始」のニュアンスを“開”にまとめ、開始系を一元化。
   * 学習コスト: ek, komenc, start と同じく「开」を再利用。
6. komenc / 开
   * 選定理由: 「开始」「开场」など“始める”概念で共通化。
   * 学習コスト: すでに ek などで「开」を使っており、新たな字は増えない。
7. start / 开
   * 選定理由: スタート＝開始 →「开」で一括
   * 学習コスト: 同上(ek, komenc 等と同字)。
8. apertur / 口
   * 選定理由: “開口部”や“穴”に相当。中国語では“开口”“入口”などで「口」が“開いた口/穴”を表す。
   * 学習コスト: 新規だが、非常に画数(3画)が少なく学習しやすい。
9. inaŭgur / 式
   * 選定理由: “开幕式”“就职式”等、儀式のイメージを表すのに「式」。
   * 学習コスト: inaŭguraci も同じ字にすることで重複削減。
10. inaŭguraci / 式
    * 選定理由: “就任式を執り行う”など、式典のニュアンスを同じ「式」で表す。
    * 学習コスト: inaŭgur と同字。
11. membr / 员
    * 選定理由: “会員”“メンバー”を直感させる簡体字。日本語の「員」に対応。
    * 学習コスト: an と同字にして重複削減。
12. an / 员
    * 選定理由: “～のメンバー”を表す接尾辞なので membr と共通化。
    * 学習コスト: すでに membr で使用。
13. er / 子
    * 選定理由: “粒子”“小片”など、小さい構成要素をイメージさせやすい。
    * 学習コスト: 3画で単純。
14. element / 素
    * 選定理由: 中国語「元素(element)」からの連想で「素」を用いる。
    * 学習コスト: やや画数(10画)はあるが、日中双方で「元素」「要素」を連想可。
15. ingredienc / 分
    * 選定理由: “成分”“材料” → 「分かれた部分」のイメージで「分」。
    * 学習コスト: 4画と少なめ。
16. ekip / 备
    * 選定理由: 中国語「装备」「配备」に含まれる簡体字“备”(備の簡体)。
    * 学習コスト: 新規だが8画で比較的簡単。
17. aparat / 器
    * 選定理由: “器械”“器具”等に共通する“器”で装置感を表す。
    * 学習コスト: instrument と同字予定。
18. rimed / 法
    * 選定理由: 手段・方法 → 中国語「办法」「手法」にある“法”が直感的。
    * 学習コスト: 8画で比較的覚えやすい。
19. instrument / 器
    * 選定理由: “器具”“楽器”など“器”で総合 → aparat と同字。
    * 学習コスト: すでに aparat で導入。
20. il / 具
    * 選定理由: “道具”“工具”の「具」。エスペラントの道具接尾辞に合致。
    * 学習コスト: 8画。新規だが単純な構造。
21. ĉio / 全
    * 選定理由: “すべて”→「全部」「全体」で直感しやすい。
    * 学習コスト: 6画、覚えやすい部類。
22. tio / 那
    * 選定理由: 中国語の“那(あれ/それ)”と同じ指示詞。
    * 学習コスト: 7画。日本語話者は簡体字“那”を見慣れないが推測可能。
23. tio ĉi / 这
    * 選定理由: 中国語の“这(これ)” → 簡体字で5画と少ない。
    * 学習コスト: 指示詞としては必須語彙。
24. nenio / 无
    * 選定理由: “何もない” → “无(無)”で“不在”を表すのに直感的。
    * 学習コスト: 4画と少なく覚えやすい。
25. kio / 何 / 「何？」の意味。“what”を直接表すため / 新規(簡体字でも同形)。日本語でも「何」と書くため直感的
26. io / 某 / 「何か」「ある～」の意味。“some(thing)”を指すとき中国語で「某」を用いる / 新規(簡体字同形)。日本語でも「某氏」「某所」などで認知度あり
27. produkt / 产 / 「生産」「産物」の意味。“生产(産)”“产品(産品)”の主要字 / 新規(「産」の簡体字)。両言語で「産」の意味を連想しやすい
28. var / 货 / 「商品」「貨物」の意味。中国語「货(貨)」は“goods, merchandise” / 新規(「貨」の簡体字)。日本語「貨」からも想像可能
29. aĵ / 物 / 「(抽象的な)もの」「事物」を表す接尾辞なので“thing”に相当 / 新規(簡体字・日本語同形)。最も汎用的な「物」
30. afer / 事 / 「物事」「事柄」「用事」「ビジネス」など。“affair, matter”に相当 / 新規(簡体字・日本語同形)。意味が広いが「事」でカバー
31. ŝtof / 布 / 「布地」「織物」の意味。中国語・日本語いずれも「布」で直感的 / 新規(簡体字・日本語同形)
32. material / 材 / 「材料」「資材」などを連想する字。中国語「材料」の主要要素 / 新規(簡体字・日本語同形)
33. objekt / 物体 / 「(具体的な)物体」「オブジェクト」。1文字では厳しいため既出の「物」に「体」を加えた標準語 / すでに物は登場済み、新たに体(簡体字・日本語同形)を導入
34. materi / 物质 / 「物質」の意味。中国語の定番表現「物质」を採用 / 物は既出、新たに质(「質」の簡体字)を導入
35. substanc / 物质 / 「物質」「実体」。意味がmateriとほぼ同じため同一熟語を再利用 / 物质を再使用(新規文字なし)
36. rekt / 直 / 「まっすぐ」「直接」の意味。中国語・日本語いずれも「直」で“straight/direct”を連想可 / 新規
37. ort / 直角 / 「直角」。1文字「角」だと“angle”全般なので、“right angle”を明確にするため「直角」 / 直を再使用、新規で角
38. vertikal / 垂直 / 「垂直」。中国語の定番表現 / 直を再使用、新規で垂
39. eben / 平 / 「平ら」「平坦」。中国語・日本語いずれも「平」で“flat, even”を直感しやすい / 新規
40. plat / 平 / 「平たい」「板状」。ebenとほぼ同義の“flat”系なので同じ「平」を使い回し / 平を再使用
41. horizont / 地平线 / 「水平線」「地平線」。中国語で“地平线”が定番 / 平を再使用、新たに地と线(「線」の簡体字)を導入
42. nivel / 水平 / 「水準」「レベル」。中国語でレベルを表す“水平”が標準 / 平を再使用、新たに水
43. horizontal / 水平 / 「水平」。前項と同じ“水平”を転用 / 水, 平 ともに再使用
44. dors / 背 / 「背(中)」。中国語・日本語とも「背」で“back”を把握可能 / 新規
45. fon / 背景 / 「背景」。中国語の定番表現 / 背を再使用、新規で景
46. fasad / 正面 / 「正面」「建物のファサード」。中国語でも“正面”で「建物の正面」含む / 新規で正, 面
47. front / 前 / 「前」「正面」。中国語・日本語共に単独の「前」でイメージしやすい / 新規
48. facet / 面 / 「切子面」「多面体の面」など。“surface/aspect”の意を1文字「面」で / 面を再使用
49. surfac / 表面 / 「表面」。中国語の標準表現“表面” / 面を再使用、新たに表

### **1) fac**

提案漢字: 面  
選定理由:

* 中国語の「面」は「表面・平面・方面」など「平らな面」を表す用法が多く、日本語でも「面(めん)＝表面・側面」などの感覚があり、幾何学的な「面」として両言語圏で直感しやすい。
* 筆画数(9画)も比較的少なく、汎用性がある。

既出との関係・学習コスト:

* 後述の「vizaĝ（顔）」にも「面」をあてているが、そこでは「顔」の意味合いとしての「面」。こちら（fac）は「平面的な面」としての使い分けを想定。
* 同じ「面」でも上付き文字や振り仮名などで区別可能。

### 2) fizionomi

提案漢字: 相  
選定理由:

* 中国語「面相」「相貌」、日本語「人相」など、「顔立ち・人相・相貌」のニュアンスを広くカバーする。
* 「相」は「外見・容貌」を表す漢字として両言語圏に馴染みがある。

既出との関係・学習コスト:

* 下記(4)trajtや(6)mienなどでも「相」を再利用することで、新たな漢字を増やさず学習コストを抑えている。

### 3) profil

提案漢字: 侧  
選定理由:

* 中国語簡体字で「侧面(側面)」は横から見た面・横顔・プロフィールの意に近い。
* 日本語の「側(そば)」「側面(そくめん)」にあたる繁体字「側」の簡体形が「侧」。横顔・横からの輪郭というイメージに合う。

既出との関係・学習コスト:

* 「相」「面」とは少し違う“横から見た断面”に近いイメージなので、新たに1字追加。

### 4) trajt

提案漢字: 相  
選定理由:

* 「目鼻立ち」「顔立ち」「特征(特長)」といったニュアンス。上記fizionomi(人相)とほぼ同じ領域にあるため、「相」にまとめる。
* 中国語では「容貌」「相貌」、日本語でも「相(そう)」の一部として使われる。

既出との関係・学習コスト:

* (2)fizionomi と同一漢字「相」を流用し、学習負担を減らす。

### 5) vizaĝ

提案漢字: 面  
選定理由:

* 「顔」を表す最もオーソドックスな中国語は簡体字「脸」だが、日本語から見て馴染みにくい。
* 「面」も中国語で「顔」の意として使われる(「面部」「面孔」)。日本語でも「顔(かお)」の古い表現「おもて」が「面(おもて)」に通じる。
* 既に(1)fac にも「面」を使っているが、こちらは「生物の顔」という文脈で同じ文字に割り当て、区別は上付き文字や振り仮名で行う。

既出との関係・学習コスト:

* (1)facと同字再利用。

### 6) mien

提案漢字: 相  
選定理由:

* 「顔つき」「表情」「神情」といった“顔に表れるニュアンス”は「相」に含められる。
* 中国語「神态(神情)」や日本語「顔つき(表情)」も、広く「相貌」「人相」に関連づけられるため、「相」でまとめても大きな齟齬は出にくい。

既出との関係・学習コスト:

* fizionomi、trajt と同じく「相」を流用。

### 7) du

提案漢字: 二  
選定理由:

* 「二」を意味する最も基本的な漢字。日本語・中国語ともに同形同音(に/èr)で直感的。

既出との関係・学習コスト:

* 極めて基本的な字であり追加負担は小さい。

### 8) ambaŭ

提案漢字: 双  
選定理由:

* 「両方の」という意味を1文字で表すなら、中国語の「双(シュアン)」が妥当。日本語でも「双(そう)」＝二つ(両方)のイメージが比較的分かりやすい。
* 「两」(3画)も「二つ・両～」の意味があるが、日本語で「両(りょう)」の形からやや離れており、「双」のほうが「双子・双方」など馴染みがあると判断。

既出との関係・学習コスト:

* 後続の「par, dual, ĝemel, ge」など「二つ・両方」の概念に対して同じ「双」を流用予定。

### 9) ambaŭ##

提案漢字: 双  
選定理由:

* 上記(8)とほぼ同義。「両方(名詞的)」としても同字で統一。
* 上付き文字や註釈で区別するとして、漢字は同じにする方が学習コスト低減に繋がる。

### 10) par

提案漢字: 双  
選定理由:

* 「一対」「ペア」＝中国語「一双」、日本語「一対」「一双」と同じ概念。
* 「両方」(8,9)と近いので同じ「双」でまとめてしまえる。

既出との関係・学習コスト:

* ambaŭ 系と同様。「双」で統合し、振り仮名等で区別。

### 11) dual

提案漢字: 双  
選定理由:

* 「二重の」「二元的な」という意味。中国語では「双重」などの形で用いられる。
* 同じく「二つ」を表すので「双」を再利用。

### 12) ĝemel

提案漢字: 双  
選定理由:

* 「双子」を指す。「双生子」「双胞胎」という言い方もあるため、やはり「双」で対応可能。
* 一文字なら他に「孪」の字もあるが、日本語で馴染みが薄いため却下。

既出との関係・学習コスト:

* ambaŭ/par/dual と同様に「双」を共有。

### 13) akcesor

提案漢字: 副  
選定理由:

* 「副次的な」「補助的な」といった意味を、中国語・日本語ともに「副～」という形で表す場合が多い。
* 「副」の字は“サブ・補助”というイメージで両言語圏で比較的わかりやすい。

既出との関係・学習コスト:

* 後のsekundant(14)とも重複使用可。

### 14) sekundant

提案漢字: 副  
選定理由:

* 「決闘の立会人(セコンド)」＝“主役を補佐する人”。漢字圏では「副官・副手」的な感覚が近い。
* 「副」として「補助」「サブ」と捉えておけば通じる範囲かと思われる。

既出との関係・学習コスト:

* (13)akcesor と同じ「副」を流用。

### 15) humor

提案漢字: 情  
選定理由:

* 「気分」「情緒」「ムード」に通じる単漢字としては「情」がもっとも自然。中国語で「情绪」、日本語で「情(じょう)・感情」など。
* 「気」(気分)にしてしまうと、やや広範(空気・エネルギーも連想)すぎるので「情」を採用。

既出との関係・学習コスト:

* 新出だが、「ムード系」を示す字としては比較的定番。

### 16) temperament

提案漢字: 性  
選定理由:

* 「気質」「性格」を単漢字で示すなら「性」(本来「本性」や「性質」の意味)が一番簡潔。
* 中国語「性格」「气质」、日本語「性格」「本性」。多少広義だが「気質」の範囲もカバーできる。

既出との関係・学習コスト:

* 後述の「seks(性)」とも同じ字を使う予定。兼用で学習コストを下げられる。

### 17) cerb

提案漢字: 脑  
選定理由:

* 中国語簡体字で「脑(脳)」。日本語の「脳」と同義だが、簡体では月+内の「脑」となる。
* 「頭脳」を表す最も直接的な字。

既出との関係・学習コスト:

* 新出だが、基幹的語彙であり妥当。

### 18) kor

提案漢字: 心  
選定理由:

* 「心」を意味する最も直接的な漢字。
* 日本語・中国語ともにそのまま「心」を「こころ/ xīn」と読む。

既出との関係・学習コスト:

* 画数(4画)が少なく分かりやすい。

### 19) sin

提案漢字: 怀  
選定理由:

* 「懐(ふところ)」の簡体字が「怀」。日本語でいう「胸に抱く」イメージや「内に秘める」イメージにも合致。
* C1にも「怀，怀抱；襟；内心」とある。

既出との関係・学習コスト:

* 新規だが、あまり他の漢字で代用しづらい概念。

### 20) erotik

提案漢字: 色  
選定理由:

* 中国語でも「色情(しきじょう)」は「エロス・性的欲望」を指すし、日本語でも「色っぽい」「好色」など「色」には性的ニュアンスがある。
* 一文字で「性愛・エロ」を示すなら「色」が簡明。

既出との関係・学習コスト:

* 画数(6画)も比較的少ない。

### 21) seks

提案漢字: 性  
選定理由:

* 「性(別)」「セックス」の基本概念。中国語・日本語ともに「性」で「セックス」「性欲」「性行為」などを連想。
* (16)temperament(気質)でも使っているが、元々「性」には「性質」「性行為」の両義があるため使い回し可能。

既出との関係・学習コスト:

* temperament(16) と同字「性」を再利用。

### 22) hermafrodit

提案漢字(熟語): 双性  
選定理由:

* 単一漢字で「雌雄同体」を表すものは存在せず、「两性(両性)」「双性(二つの性)」「雌雄同体」など2～4文字が一般的。
* ここでは「双(両)＋性(性質)」の二文字で最小限かつ分かりやすい表現とし、すでに使っている「双」と「性」を合成して学習負担を減らす。

既出との関係・学習コスト:

* 「双」「性」はいずれも既出のため、新たな漢字を増やさずに済む。

### 23) ge

提案漢字: 双  
選定理由:

* エスペラントで「男女両方を含む」を示す接頭辞。中国語圏では「双方(両者)」という語感がある「双」が適当。
* 厳密には「両性含む」のニュアンスだが、「双」は“二つ・両方”のイメージで最も近い。

既出との関係・学習コスト:

* (8)～(12) と同じく「双」。サブスクリプトなどで使い分け可能。

### 24) amfibi

提案漢字(熟語): 两栖  
選定理由:

* 「両生動物」は中国語で「两栖动物」。一文字で表す手段がないため、2文字「两栖」に省略。
* 「双栖」という表現も見かけるが、正式には「两栖」が圧倒的に一般的。日本語「両(りょう)」との対応も想起しやすい。

既出との関係・学習コスト:

* 「两」は(二)を意味する簡体字で初出、「栖」は「棲」と同源。やや画数が多いが妥協。

### 25) brut

提案漢字: 畜  
選定理由:

* 「家畜」「牲畜」を表す際に用いられる漢字。「畜産」など日本語でもおなじみ。
* 筆画数(10画)は中程度だが、単字で「家畜」の意を持つ最適な文字。

既出との関係・学習コスト:

* 他に代用しやすい漢字がないため、新出として提案。

best / 兽 /

* + 選定理由: 簡体字の「兽」は「獣（けもの）」に相当し、「beast」に相当する語として分かりやすい。
  + 学習コスト: 単字。「動物(动物)」との差別化のためにも「兽」を用いると「野獣」的ニュアンスを表しやすい。

1. animal / 动物 /
   * 選定理由: 中国語で最も一般的な「動物」の簡体字表記。日本語圏でも「動物」の字形から十分に意味が想起できる。
   * 学習コスト: 2文字だが非常に基本的な単語。どちらの言語話者にも馴染みがある。
2. korp / 体 /
   * 選定理由: 「体」は日本語でも「からだ」、中国語でも「身体」を表す一部としてよく使われるため、「body」の意味を把握しやすい。
   * 学習コスト: 単字で画数も比較的少なめ。
3. organ / 器官 /
   * 選定理由: 中国語で器官(きかん)はそのまま「organ」の意味。日本語でも馴染みのある熟語。
   * 学習コスト: 2文字だが医学・生物系で頻用されるため、連想しやすい。
4. organism / 生物 /
   * 選定理由: 中国語で「生物」は「organism」「living thing」の意味。日本語でも「生物（せいぶつ）」で同様に理解される。
   * 学習コスト: 2文字。「动物」で既出の「物」を再利用。「生」は新規だが、学習者にも比較的なじみが深い。
5. ripoz / 休 /
   * 選定理由: 中国語・日本語とも「休」は「休む／休息」を示唆する単字。
   * 学習コスト: 単字で画数が少なく、「休息」としても通じる基礎的な漢字。
6. feri / 假 /
   * 選定理由: 中国語で「假」は「休暇／休日」の意味を含む（「假期」「假日」など）。日本語で「仮」の印象はあるが、文脈で「休日」を示唆できると判断。
   * 学習コスト: 単字。「休日」と完全一致ではないが、中国語としては「休日・休暇」の最も簡単な表現。
7. pensi / 退休金 /
   * 選定理由: 中国語で「退休金」は「年金」「ペンション」に相当。日本語でも直感的に「退」「休」「金」で「退職後の給付」と想像しやすい。
   * 学習コスト: 3文字だが「休」は(6)で既出。「退」と「金」は新規だが、いずれも基本漢字。
8. emerit / 退休者 /
   * 選定理由: 「定年退職者」「退職者」の意味に対応する中国語は「退休者」が自然。
   * 学習コスト: 「退」「休」は既出。新たに「者」を導入。「作者」などでも再利用が見込める。
9. komandit / 有限合伙 /

* 選定理由: 中国語で「有限合伙」は「リミテッド・パートナーシップ（有限責任の合伙）」として定訳。
* 学習コスト: 4文字とやや長めだが、商業用語として定着しており、対応を明確にできる。

1. kompani / 公司 /

* 選定理由: 中国語で「公司」は「会社」の最も一般的な語。日本語の「会社」とは字面こそ違うが、双方になじみがある。
* 学習コスト: 2文字。「公」は要所で再利用される可能性がある。

1. korporaci / 公司 /

* 選定理由: 「corporation」に相当し、(11)と同じ「公司」を重複使用することで学習コストを下げる。
* 学習コスト: 重複割当。「公司」を再利用し、新規導入なし。紛らわしさはあるが、同根・同類語として理解できる利点あり。

1. sindikat / 工会 /

* 選定理由: 中国語で「工会」は「労働組合」を指す公式用語。日本語でも「工＝労働」「会＝集まり」のイメージが持てる。
* 学習コスト: 2文字だが比較的画数少なめ。

1. societ / 社会 /

* 選定理由: 「societ」は「社会」「団体」「サークル」など広義だが、ここでは最も基本的な「社会」を充てる。日本語・中国語双方で頻出。
* 学習コスト: 2文字。「会」は(13)等で既出、「社」は新規導入。

1. asoci / 协会 /

* 選定理由: 「association」に対応する中国語の代表格。「协」(簡体字)＋「会」の組み合わせで協会の意。
* 学習コスト: 2文字だが「会」は再利用。「协」は(14)「社会」の「社」と異なる新規だが使用頻度が高い。

1. rendevu / 约会 /

* 選定理由: 「约会」は「約束して会う・デート・アポ」などの意味。日本語圏でも「約(やく)」「会(かい)」の組み合わせで連想しやすい。
* 学習コスト: 2文字。「会」は既出。新規の「约」は(18)や(19)などでも再利用可能。

1. kontrakt / 合同 /

* 選定理由: 中国語で「合同」は「契約」を表す代表的な語の一つ。日本語でも「合＝合わせる」「同＝同じ」のイメージが近い。
* 学習コスト: 2文字。「合」は(10)「合伙」で既出、新規は「同」のみ。

1. traktat / 条约 /

* 選定理由: 中国語で「条约」は「条約」を意味し、国際条約等の文脈で広く使われる。
* 学習コスト: 2文字だが「约」は(16)で既出。「条」は新規導入。

1. konvenci / 公约 /

* 選定理由: 「公约」は「国際公約」「条約」「協定」などの意味合いで使われ、英語の“convention”に近い。
* 学習コスト: 2文字。「公」は(11)などで既出、「约」も(16)で既出。追加導入なし。

1. verk / 作 /

* 選定理由: 「作」は「つくる」「創作する」の基礎漢字。日本語・中国語双方で「制作」「創作」などのニュアンスが伝わる。
* 学習コスト: 単字で画数も少なめ。後述の「作者」にもつながる。

1. aŭtor / 作者 /

* 選定理由: 中国語で「作者」は「著者」「書き手」を直接示し、日本語でも意味を取りやすい。
* 学習コスト: 2文字。「作」は(20)で既出。新たに「者」を導入。

1. sekretari / 秘书 /

* 選定理由: 中国語で「秘书」は「secretary」に最も相当。日本語でも「秘＝秘密」「書＝書く人」から連想しやすい。
* 学習コスト: 2文字で新規導入だが、どちらも基本的な字。

1. redakci / 编辑部 /

* 選定理由: 「编辑部」は「編集部」「編集局」にあたる標準的な表現。
* 学習コスト: 3文字すべて新規だが「编辑(編輯)」は「編む＋集める」で編集を表し、「部」は部署としても頻用。

1. redaktor / 编辑 /

* 選定理由: 人(〜者)を強調するなら「编者」もあるが、中国語では「编辑」が「編集者・エディター」にも使われるため、(23)と同じ語を再利用。
* 学習コスト: 2文字とも(23)で既出。追加導入不要。

1. tez / 论文 /

* 選定理由: 中国語の「论文」は「論文／学術論文」に相当し、英語の“thesis”“paper”の意味に近い。
* 学習コスト: 2文字とも比較的画数が少なく、日本語圏でも「論文」として直感的に理解可能。

misi / 使命 /

* + 選定理由: 「mission」を表す最も一般的な語として、中国語では「使命(shǐmìng)」がよく用いられ、日本語でも同じく「使命」で意味が通じる。
  + 学習コスト: 単字で「使」や「命」のどちらか一方を当てるとやや意味がぼやけるため、2文字熟語として提案。両方とも日本語・中国語で頻出の字。

1. adres / 地址 /
   * 選定理由: 「住所」「アドレス」に対応する中国語は「地址(dìzhǐ)」が標準的。日本語話者にも「地」「址」の両字はある程度馴染みがある。
   * 学習コスト: 単字「地」では「土地」の意味が強く、「址」単独では日本語話者にとって馴染みが薄い可能性があるため、2文字熟語の「地址」を推奨。
2. leter / 信 /
   * 選定理由: 「手紙」「書簡」にあたる中国語として「信(xìn)」は非常にポピュラー。日本語でも「信（しん）」は「通信」「信用」などで広く使われ、手紙のイメージにもつながりやすい。
   * 学習コスト: 画数は9画(繁体だと10画)だが、比較的初歩で学ぶ字なので許容範囲。
3. poŝt / 邮 /
   * 選定理由: 「郵便」を意味する「邮(yóu)」は、中国語で「邮政」「邮局」など郵便関連を総称する際の中心的な字。
   * 学習コスト: 簡体字「邮」は、画数が少なめ(7画)で覚えやすい。
4. film / 片 /
   * 選定理由: 中国語でフィルムを「胶片(jiāopiàn)」と言うが、その後半の「片(piàn)」は「薄い板」「切片」「作品(映画の意)」などを指し、フィルムの“薄い一枚”というニュアンスに近い。
   * 学習コスト: 「片」は画数が少なく、日本語でも「破片」「切片」などでおなじみ。
5. kin / 电影 /
   * 選定理由: 「映画」にあたる中国語の標準形は「电影(diànyǐng)」。日本語でも「映画＝えいが」だが、「影」という字に映画のイメージが強く、「电」は“電気”という含みを示す。
   * 学習コスト: 2文字熟語だが、ともに頻出漢字。将来的に「電」「影」を別の語根で再利用可能。
6. fot / 照 /
   * 選定理由: 写真(写真を撮る)のイメージから「照片(写真)」「照相(写真を撮る)」の「照(zhào)」を抜き出し。日本語でも「照らす」「照明」などでそこそこ馴染みがある。
   * 学習コスト: 単字でやや画数（13画）は多めだが、「写真を撮る」イメージを一文字で示しやすい。
7. fotografi / 摄影术 /
   * 選定理由: 「写真術」や「写真学」に近い語として、中国語では「摄影术(shèyǐngshù)」が「写真術」を表しやすい。
   * 学習コスト: 「摄(攝)」と「影」はすでに映画(kin)でも使った「影」とセット。最後の「术」は“技術”“学術”を表す常用字で、写真術のニュアンスを明示。
8. fotograf / 摄影 /
   * 選定理由: 「動詞としての撮影をする／形容詞的に“写真撮影の”」のような意味合い。中国語で「摄影(shèyǐng)」は「撮影する」行為そのものを示す場合に広く使う。
   * 学習コスト: 上記(8)と同じ「摄」「影」の組み合わせで一貫性を持たせた。
9. fotograf## / 摄影师 /

* 選定理由: 「カメラマン」「写真家」を指す中国語では「摄影师(shèyǐngshī)」が最も一般的。
* 学習コスト: 「师」は「老師(教师)」「医師(医生)」など、専門職に広く用いられる常用字。

1. rekord / 录 /

* 選定理由: 「記録」を指す中国語は「记录(jìlù)」だが、単字で「录(lù)」とすれば“記録する”の核心イメージ（録音・録画など）を表しやすい。
* 学習コスト: 画数7画で比較的シンプル。「記(记)」を使う方法もあるが、こちらは“書き留める／記憶”寄りなので、録音・録画のニュアンスが強い「录」を採用。

1. monument / 碑 /

* 選定理由: 「記念碑」にあたる中国語「纪念碑(jìniànbēi)」の末尾「碑(bēi)」は、日本語でも「石碑」「碑文」で馴染みがあり、“モニュメント”の核心を表す。
* 学習コスト: 画数はやや多め(13画)だが、文字単独でも「モニュメント（石碑）」と結びつきやすい。

1. epigraf / 铭 /

* 選定理由: 「碑銘」「銘文」にあたる語で、中国語では「铭(míng)」が“金属や石に刻む文章”を広く意味し、日本語でも「銘」(旧字: 銘)は“胸に銘じる”“銘文”などで通じる。
* 学習コスト: 一般には専門的だが、日本語・中国語ともに“刻む文章”という意味を連想しやすい。